

平成25年度第1回(第32回)幸町地区学校適正配置地元代表協議会議事要旨

1 日 時 平成25年6月20日(木)午後7時～9時

2 場 所 幸町公民館ホール

3 出席者

- (1) 委員 19名 *欠席1名:外山委員
(2) 事務局 6名 *企画課大崎課長、池田統括管理主事、市倉課長補佐、小口主査、安井主査補、望月主査補
(3) 傍聴者 1名

4 報告・議題

- (1) 平成25年度地元代表協議会委員の確認
(2) 【報告1】地元代表協議会における協議の概要について
(3) 【報告2】平成25年度に算出した推計(速報値)による幸町地区の小・中学校の状況について
(4) 【報告3】小学校の統合新設校の改修について
(5) 【議題1】中学校の統合について
(6) 【議題2】次回開催日時・場所について

5 会議資料

- (1) 平成25年度幸町地区地元代表協議会委員名簿
(2) 資料1 平成24年度地元代表協議会における協議の概要
(3) 資料2 平成25年度に算出した推計(速報値)による幸町地区の小・中学校の状況
(4) 資料3 統合新設校(旧幸町第四小)の改修について
(5) 資料4 中学校の統合について
(6) 別紙 「旧幸町第四小学校の施設見学会」の開催について(案)

6 会議の概要

- (1) 平成25年度協議会委員の確認
「平成25年度幸町地区地元代表協議会委員名簿」について確認・承認され、教育委員会ホームページにおいて公開することとした。
- (2) 【報告1】地元代表協議会における協議の概要について
資料1に基づき事務局が説明し、次の点が確認された。
・3月25日に、協議会会長・副会長から「跡施設活用の要望書」が市長へ提出された。
・5月26日に学校適正配置説明会が幸町第二中で行われた後、中央区の協議会委員について、中央区のマンション等で検討された結果、代表を選出することが決まった。
- (3) 【報告2】平成25年度に算出した推計(速報値)による幸町地区の小・中学校の状況について
資料2に基づき事務局が説明し、次の点が確認された。
・第一小と第二小が統合する27年度の推計(速報値)では、普通学級が12学級、特別支援学級が2学級の計14学級となる。
・特別支援学級については、第一小の知的・情緒2学級は統合新設校に存続し、第二小の言語・難聴4学級は他校への設置の方向で検討している。
・中学校の推計(速報値)は、27年度以降は小学校の統合に伴い、第二小の中学校区を第一中学校区に変更したデータである。

※第二中の25年度の学級数を1年4学級（平均人数39）、2年5学級（平均人数34）、3年4学級（平均人数39）の計13学級（平均人数37）に訂正願います。

（ホームページの掲載資料は、訂正済み）

（4）【報告3】小学校の統合新設校の改修について

資料3に基づき事務局が説明し、次の点が確認された。

- ・旧第四小の施設見学会を開催する予定である。
- ・改修に関わる要望がある場合は、夏休みに入る前（7/19）までをお願いしたい。

その後の協議で、旧第四小の施設見学会を7月6日（土）14時から行うことが確認された。施設に関する要望については、学校ごとに取りまとめることとし、地域から意見がある場合は、各学校のPTAを通してまとめる流れが確認された。

（5）【議題1】中学校の統合について

資料4に基づき、次の点を事務局が説明した。

- ・統合に伴う通学区域の弾力的運用により、統合校開校時に、現第二小学区内から通学する1～6年生については、希望をすれば従来どおり第二中への進学を承認する。
- ・子どもたちに統合を2度（小学校の第一段階統合を入れると3度）経験させないためには27年4月または28年4月のどちらかで統合することが条件になる。
- ・現在考えられる統合シミュレーションでは、統合場所が第一中の場合は生徒が校舎に居ながらの施工となり、第二中の場合は仮校舎方式となる予定である。

その後の協議で、中学校統合に反対という意見はないが、意見を保留する団体もあるため次回の協議会までに中学校の統合の必要性について各団体で話し合い、その結果を持ち寄り再度協議することが確認された。

（6）【議題2】次回開催日時・場所について

次回の協議会については7月25日（木）19時から、場所はガーデンタウン管理センターまたは第二中学校で開催することが了承された。

※場所はガーデンタウン管理センターで行う予定。（詳しくは開催案内にてお知らせする。）

7 発言要旨

（1）会長挨拶 <長岡会長>

皆さんの協力を得ながら協議を進め、子どもたちにより良い教育環境を提供していけるようにしたい。中学校の統合協議についても、皆さんの協力がないと前に進んでいけないのでよろしくお願いしたい。

（2）教育委員会挨拶 <企画課：大崎課長>

平成20年2月の第1回協議会から数えて32回目となる。長岡会長、蟹江前副会長、木幡副会長、亀田副会長には協議会の運営にお骨折りを頂き、本日を迎えられていることを心から感謝申し上げます。

また、西村新副会長をはじめ協議会委員の皆様には、大変お忙しい中、集まっていただき感謝するとともに、役員改選等で新しく委員になられた方々も含め、各団体の代表として様々な角度から議論をお願いしたい。

今後は、第一中と第二中の統合について、中央区を含めた現行学区を原則として協議を進めていくことが確認されており、今年度も幸町地区の子どもたちの教育環境の整備と教育の質の充実を図るため、真摯な協議をお願いする。

(3) 配布資料と委員名簿の確認

<事務局>

委員名簿はホームページ上に公開してよろしいか。

<一 同>

異議なし。(了承)

<事務局>

本日の資料として、「資料1：平成24年度 地元代表協議会における協議の概要」「資料2：平成25年度に算出した推計(速報値)による幸町地区の小・中学校の状況」「資料3：統合新設校(旧幸町第四小)の改修について」「資料4：中学校の統合について」を配布している。

(4) 報告1「地元代表協議会における協議の概要」

<亀田議長>

事務局から報告をお願いします。

<事務局>

第5回協議会では、「跡施設活用の要望書」が全会一致で了承され、市長に提出することが合意された。また、次年度の協議会委員として、中央区から要請があれば協議会委員を追加することが確認された。これを受けて、5月26日に中央区対象の説明会を第二中で行った後、中央区のマンション等で検討していただいた結果、ウェリスガーデン千葉みなと公園自治会の上原様が代表として選出され、協議会委員として出席していただく運びとなった。

<亀田議長>

何か質問はあるか。

<一 同>

質問なし。(了承)

(5) 報告2「平成25年度に算出した推計(速報値)による幸町地区の小・中学校の状況」

<亀田議長>

事務局から報告をお願いします。

<事務局>

次の点を説明する。

- ・平成25年度は実数、平成26年度以降は推計(速報値)を示している。
- ・第一小(第四小を含む)と第二小の平成27年度統合では、普通学級12学級、特別支援学級2学級の計14学級となる。特別支援学級としては、第一小の知的・情緒2学級は存続し、第二小の言語・難聴4学級は他校への設置の方向で検討している。
- ・第三小は大規模校となっているが、徐々に減少していく傾向である。
- ・中学校の推計(速報値)では、27年度に小学校が統合して第二小の中学校区を第一中に変更した場合を示している。仮に第一中と第二中が27年度に統合した場合は、普通学級18学級、特別支援学級1学級の計19学級となる。

<亀田議長>

何か質問はあるか。

<八島委員>

第一小の25年度における6年生の人数と、第一中の26年度に入学する1年生の人数が異なっているのはなぜか。

<事務局>

過去3年間の入学率をかけて推計(速報値)を算出しているため、第一小の卒業生全員がそのまま第一中に入学することにはなっていない。

<鶴岡委員>

第二小にある言語・難聴4学級は他校への設置の方向で検討するとなっているが、なぜ一緒にできないのか。

<事務局>

以前の協議会でも説明した通り、教室数等の関係で、他校で設置する方向で検討している。

<鶴岡委員>

他校とはどこか。

<事務局>

美浜区内の学校で検討している。言語・難聴学級については、週に何日かそれぞれの学校から通学してくる学級である。

<鶴岡委員>

バスで通学しているのか。

<事務局>

保護者が自家用車で送ったり、一緒に公共交通機関を利用したりして通っている。

(6) 報告3「小学校の統合新設校の改修について」

<亀田議長>

事務局から報告をお願いします。

<事務局>

資料3は統合新設校(旧幸町第四小)の改修について示している。平成25年度は実施設計を行い、平成26年度から改修工事に入る予定である。協議会委員の方々から、改修に関わる要望をしたい旨のご意見を伺っているので、旧第四小の施設見学会を開催したいと考える。

(別紙:『旧幸町第四小学校の施設見学会』の開催について)案を配布し、説明)

1時間半程度の時間で、校舎や体育館を実際に見てもらう。学校施設課が同行し、今考えられる改修内容を説明する。また、改修に関わる要望は、夏休み前に提出をお願いしたい。

それに応じて実施設計に要望を入れられるかどうか検討したい。また、校庭についてはURの借用地となっているので、URとの協議によって決まることになる。施設見学会の開催日はできるだけ早い時期の土曜日か日曜日を考えている。

<亀田議長>

6月30日(日)はどうか。無理ならば7月6日(土)はどうか。

<安藤委員>

できるだけ多くの人に参加できるよう2日間開催することは可能か。

<事務局>

学校施設課のスケジュール等の都合もあり、できれば1日で対応していきたい。

<亀田議長>

青少年育成委員会などの都合を考え、またPTAができるだけ全員が出られる日ということで、7月6日(土)14:00から開催することはいかがか。

<一同>

異議なし。(了解)

<長岡会長>

学校施設課から改修についての素案は出るのか。判断の目安になるものがないと、要望を出せないと思う。

<事務局>

資料3よりもさらに詳細なものを出せるかどうか持ち帰って検討したい。

< 亀田議長 >

人数は制限しなくてよいか。

< 事務局 >

説明に支障がない人数となるよう、各団体の会長・副会長等で判断していただきたい。

< 安藤委員 >

改修に関わる要望は夏休み前に出してほしいとあったが、6日に見学会をして、統合準備会が行われる9日にまとめて提出するのは難しい。各団体で個別に出してよいか。

< 事務局 >

夏休み前（7/19）までに、各学校長にも了解を得ながら、各団体から企画課へ提出していただきたい。

< 八島委員 >

団体ごとに出すということは、各学校ごとにまとめて出すという考えでよいか。

< 事務局 >

各学校単位で出していただいてよい。

< 長岡会長 >

地域にも責任がある。地域の意見が反映されるような要望にしていきたい。

< 亀田議長 >

統合準備会から夏休み前までの10日間の中で要望をまとめるために、もう一度それぞれが集まらなければならないのか。または各団体が個別に出す形でよいのか。

< 事務局 >

学校と相談しながら、各団体で十分話し合っただき、要望を出していただきたい。

< 巖倉委員 >

統合準備会のメンバーには、地域の人が入っているのか。

< 事務局 >

昨年度行われた第一小・第四小の統合準備会でもそうであったが、今回の第一小・第二小統合準備会でも、第一中学校区となることから、地域代表として木幡副会長に出席していただく予定である。地域から意見がある場合は、木幡副会長に伝えていただきたい。

< 布施委員 >

施設見学会の日程で、質疑応答を行うことになっているが、その場で統合準備会の委員に意見を吸い上げてもらうという考え方でよいのか。

< 事務局 >

質疑応答では、意見を吸い上げる場というよりも、改修の内容についての質問を受け付けることが中心となる。

< 亀田議長 >

地域から改修に関する要望がある場合は、第一小・第二小のPTAへ伝えていただきたい。

< 木幡副会長 >

統合校が旧第四小になるということは、3校統合にあたってエレベーターをつけるなど、施設が設置基準を超えてグレードアップするということであるから、どういうレベルにするかは関係者の意見によるところが大きいと考える。関係者とはつまり学校やPTAである。第二小の人たちは、旧第四小についてよくわからないと思うので、施設を見学してもらうという意味があり、要望については統合準備会の責任で行えばよいと思う。

地域の人たちの声をどう反映するかをしっかりと確認すればよい。要望の出し方は、可能な限りPTAがそれぞれの判断で出せばよいと考える。夏休みに入った後も、追加要望が出るのが予想されるが、それについても配慮いただきたい。

<長岡会長>

学校は教育施設であるけれども、地域にとっては避難場所でもあるので、地域の意見を無視されては困る。

<事務局>

施設見学会は6日に開催し、地域の意見があれば各学校のPTAに意見を伝えていただきたい。それを各校PTAで、要望の中にまとめていただければと考える。

<長岡会長>

要望を受けて学校施設課と検討した後、実施設計の内容については協議会で説明してもらえるのか。

<事務局>

進捗状況については、その都度協議会の中で説明していきたい。

(7) 議題1「中学校の統合について」

<亀田議長>

事務局から説明をお願いします。

<事務局>

資料4は、中学校の統合について示している。次の点を確認する。

- ・統合に伴う通学区域の弾力的な運用としては、開校時に現第二小区内から通学する1～6年生については、希望をすれば従来どおり第二中への進学を承認する。
- ・統合を2度（小学校の第一段階統合を入れると3度）経験させないためには、27年4月または28年4月の統合が条件となる。
- ・統合場所を第一中とした場合は居ながら施工となり、第二中とした場合は仮校舎方式となる予定である。
- ・部活動の開設状況については、25年度のものである。

<亀田議長>

中学校の統合は必要かどうか、各団体の考えを出していただきたい。

<八島委員>

第一小としては、今年度はまだアンケートは実施していない。小学校のことを決めるだけでもかなり時間がかかっており、同じように協議を進めていけば、後からいろいろな問題が出てきてしまうことを心配している。

<安藤委員>

第二小としては、新しくアンケートは実施していないが、小学校の統合の前提が中学校の統合だったので、ぜひ統合してほしい。

<田中委員>

第三小は、新たなアンケートをとっていないが、個人的には統合した方がよいと考える。今後はアンケートを実施し、慎重に意見を吸い上げていきたい。

<守委員>

旧第四小としては、統合した方がよいという意見が多く、統合反対という意見は特に出ていない。

<木村委員>

第一中としては、統合に向けて話し合っていたきたい。第一中は今とても良い雰囲気だが小学校の統合を経験している保護者、特に統合準備に関わっている方の中には、子どもたちや現場の負担を見ているので、中学校の統合を急いでほしいと言えない人がいることを十分に理解してほしい。中学校の統合は必要なことだと思っている。

<保坂委員>

第二中としては、過去にアンケートをとっている。第一中の推計を見ると、統合が必要であることは理解している。PTAの中では、統合については前向きだということ考えている。今後もアンケートをとる予定である。

<吉野委員>

統合には賛成である。小学校問題が長かったので、生徒のことを考えると、スムーズに協議を進めてほしい。

<巖倉委員>

推計から判断すると、統合を進めた方がよい。

<澤本委員>

第二中の評議員としては、この問題について話し合っていないが、統合するという方向で気持ちは固まっている、と思っている。

<布施委員>

第一中の評議員としては、先日の評議員会では統合に前向きであるということを確認した。また、中央区からも協議会委員が加わるということ伝えている。

<蟹江委員>

第三小の評議員としては、まだ話し合っていないので保留とするが、以前から指摘しているように、統合についてはピッチを上げて協議すべきであると考えている。

<鈴木委員>

地域の中では、統合に向けて協議しているという話はしている。これから様々な意見をしっかり聞いて前向きに協議したい。

<上原委員>

幸町地区学校適正配置という形になっているのが気になる。幸町地区の中学校だけでなく、周辺の高洲第一中や新宿中なども含めて、学区変更ができないのかなど、総合的に検討してほしい。中央区としては、海岸部の子どもたちが登戸小に通っている状況がある。私たちの自治会の子どもたちは第三小に通っている。海岸部の子どもたちの登下校の姿を見ていると、学童難民という感じを受け、かわいそうに思う。「なぜ登戸小に通学しなければならないのか。幸町地区は統廃合をしているのに。」と疑問が残る。「学校適正配置は、従来の学区で考えるべきなのか、学区の見直しまで含めて考えるべきなのか」をしっかりと検討していただきたい。

<佐藤委員>

今のままで良いと考えている人が多いのではと想像している。街がどのようにつくられていくのかという点からしっかりと議論を行い、第三小の意見を集約し、地元の意見も聞き、さらに中央区の意見も聞きながら、協議を進めていきたい。個人的には統合に賛成である。

<鶴岡委員>

直近のアンケートをとっているわけではないが、昨年度の聞き取り調査では、統合賛成の意見が大半である。

<木幡副会長>

第一中区の青少年育成委員会としてはまだ意見は固まっていない。統合することにより子どもたちの学習環境がどのように良くなるのかの根拠がはっきり示されないと、子どもが少ないというだけでは判断できない。しっかりと議論をしてから意見をまとめたい。

<亀田議長>

第一中区・第二中区の両青少年育成委員会の中で、しっかりと協議し、次回意見を持ってくるということによいか。

<木幡副会長>

了解した。

<西村副会長>

上原委員の意見に同調する。登戸小に通う児童が国道を渡って通学しており、危険な状態をとっても心配している。単純に中学校の統合ということではなく、周辺の学区の見直しを含めてこの機会に考えてほしい。

<亀田議長>

中学校の統合について、次回はさらに協議したい。

<布施委員>

5月26日の第二中区での説明会ではどのような意見が出たのか。

<亀田議長>

教育委員会にアンケートをとってほしいという意見が出たが、各学校が中心となってそれぞれアンケートをとらなければいけないと考えている。また、新宿中に行けないのかという意見が出たが、新宿中の現在の状況を考えて受け入れられないというのが教育委員会の回答だった。参加者としては、中央区の4つのマンションから自治会代表が3名出席していただいた。また、保護者が数名来ていた。

<上原委員>

中学校の統合問題はこれから検討するということだったので、そのときは、それ以上の質問はしなかった。

<田中委員>

アンケートをとる場合は、どのような内容にすればよいのか。

<亀田議長>

以前に第三小でアンケートをとっているのので、それを参考にしてほしい。個人的な質問だが「登戸小に通っている児童も第三小に通学してもよい、また中央区の第三小に通っている児童も登戸小に行ってもよい」という選択ができるようにしてほしいという要望をすることは可能であるか。

<事務局>

千葉市は学区制が基本となっている。大規模校化を分散させるために学区外通学承認地域を設定している場合もある。また、地域の要望が出たことによって、学区外通学承認地域にしている場合もある。例えば、新宿中が大規模校化している中で、新宿小学区の児童が弁天小や本町小に行く例もある。もちろん申請があれば、すべてを認めるというわけではなく、審査してから判断するという形が基本である。

<上原委員>

学区の見直しを検討できないか。登戸小に通学している子どもたちも幸町の学校に通えないのか。

<事務局>

説明会で話した通り、大規模校化を分散させるという点から、認めることは難しい状況である。また新宿小の場合、地元代表協議会で学区の変更を教育委員会から提示した例もあるが、学区変更ではなく、分校の形で対応するという結論になった。学区の見直しについては、地元の要望を踏まえ、さまざまな面から考慮し対応している。

<上原委員>

そもそも現在のような学区をなぜ設定したのかが分からない。

<蟹江委員>

中央区にマンションができた順に第三小に入っていたが、徐々に第三小に空き教室がなくなっていく状況になり、学区が登戸小になった経緯がある。どんどんマンションが建設されて教育委員会が予想していなかった状況になってしまったと考える。

<上原委員>

それなら、はじめから登戸小に行かせればよかったのではないか。

<蟹江委員>

本来は中央区にもう一つ学校をつくるべきだった。今になって学区を戻すのは難しい。今回の統合と中央区の学区の問題を一緒にして議論すると、話が進まない。

<亀田委員>

最初は第三小にも十分な余裕があったから受け入れたことを理解していただきたい。

(8) 議題2「次回開催日時・場所について」

<亀田議長>

今回は8月3日(土)に行くか。または夏休み明けの9月7日(土)の開催にするか。8月3日の場合は、夏休み前に各団体で話し合う場を持ってから開催することが必要になる。

<巖倉委員>

夏休みが明けてからの方がよいのではないか。

<事務局>

27年4月統合を目標にするのか、28年4月統合でもよいとするのかを前提とした上で、開催日程を考えていただきたい。

<亀田議長>

本日の協議会の様子では、27年4月統合は難しいと思われるがどうか。9月中に要望書を出すことが条件となる27年4月統合に向けて協議を進めることに、賛成の人は挙手をお願いしたい。

* 4名の委員が挙手

<布施委員>

今の段階で、統合時期の目標設定をするのは難しい。次回の協議会は早めに行った方がよいのではないか。

<亀田議長>

次回までに中学校統合について各団体で話し合ってから協議会を持ちたい。8月3日でもよい。

<田中委員>

夏休み中は難しい。

<亀田議長>

9月14日はどうか。

<長岡会長>

平成27年に統合するためには9月中に結論が出なければいけないことを確認した方がよい。14日も27日も予定がある。夏休みも無理ならば、夏休み前に協議会を開けるか。

<布施委員>

統合シミュレーションにおいて、要望書の提出期限はいつまでなのか。

<事務局>

統合の1年半前に要望書を出さないと、予算や統合校の交流計画などの様々な面から難しい。

<布施委員>

それならば、次回の協議会の開催を9月にしたら、27年度の統合は間に合わないことになる。

<田中委員>

27年4月を統合時期とし協議を進めるといった話を私は聞いていない。第三小のPTAの意見を聞くには、この短期間では無理であると考えます。

<木村委員>

今回の協議会で27年4月の統合は無理だという議論が十分になされていないのに、なし崩しに無理だろうという結果になったとは保護者に説明できない。

27年4月統合のシミュレーションについて説明して、意見をまとめる場がほしい。

<亀田議長>

夏休み前に団体で話し合いを持てるか。

<木村委員>

第一中は10日に合同委員会で協議する。

<八島委員>

第一小は意見を聞くことができる。

<安藤委員>

第二小は、統合はしてほしいが、その時期は協議会の決定に任せる考えである。

<田中委員>

第三小は7月11日の運営委員会で話すことはできる。

<保坂委員>

第二中は7月13日に役員会があり、それ以降ならば可能である。

<亀田議長>

7月下旬、盆踊りが行われる前の平日はどうか。

<木幡副会長>

青少年育成委員会は7月の初めに開くことはできる。

<亀田議長>

7月20日はどうか。

<事務局>

7月21日に参議院選挙が行われる可能性があり、その前日は準備のため開催が難しい。

<亀田議長>

次の開催を7月25日(木)の19時からとし、場所はガーデンタウン管理センターで、予約がとれなければ幸町第二中の図書室をお借りするというのでいかがか。

<一同>

異議なし。(了承)

<上原委員>

本日の協議会で、学区に対する質問に回答がないのに、次の協議会までに準備をすることは難しい。

<亀田議長>

学区の見直しは無理であり、個人的な事情がある場合は個々に学区外通学が申請できるというのが回答である。

<長岡会長>

次回までに、教育委員会はしっかり回答してほしい。

<蟹江委員>

次回までに統合するかどうか決めるということか。統合場所まで決めるということか。このままだと教育委員会も準備に入れないのではないか。

<亀田議長>

統合するかどうかはまだ決まっていないので、各団体で話し合ってきていただきたい。

<木幡副会長>

学区の問題は全体の間では話し合うのが難しいので、教育委員会は中央区代表に個別にしっかり回答してほしい。

<上原委員>

個別でよいので、お願いしたい。

<蟹江委員>

本日の説明内容を文書でまとめて示した方がよい。

<事務局>

連絡を取り合いながら、進めていきたい。

(9) 諸連絡

<木幡副会長>

事務局から連絡をお願いする。

<事務局>

- ・本日の議事要旨については、後日委員の方々に案を送付する。訂正等あった場合は期限までに返送をお願いしたい。
- ・委員名簿を公開するが、名前等を公開したくない場合は事務局へ連絡してほしい。
- ・次回の協議会に欠席する場合は、事務局に電話してほしい。代理を立てることも可能である。
- ・本日の協議の結果について、特に中学校を統合するかどうかについて、各委員から所属団体に必ず報告して検討していただきたい。

(10) 閉会

<長岡会長>

時間が過ぎているのでこれで終わりにする。気をつけてお帰りいただきたい。